

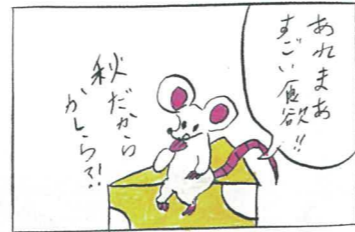
『君たちはどう生きるか』

吉野源三郎 作 (ポプラ社)

今から八十年前の戦前、少年少女向けに出版された本である。中学一年生のコペル君が、自身の体験と彼の叔父さんとのやりとりを通して成長していく様子が、学校生活を通して綴られていく。暗い時代へ進む中であって、登場人物たちが真剣に生きている。読みながら、私は通勤途中で何度も泣いてしまった。本題の「どう生きるか」は永遠の問いであり、自問自答をしながらその答えを探していくのだろう。コペル君と叔父さんの両方の立場に立てる大人にこそ読んでほしい本である。なお、古い表現があるが、本質はぶれていない。また、風景や季節の描写が、コペル君の心情と相まって素直に心に入ってくる。文字だけで本の世界に浸れる心地よさも味わえる。(学校支援担当・田邊)



本の図書館
Biblioteken Arbaro
作: 小林エリカ KOBAYASHI Erika
「はらへこ」



千代田図書館

Check

中高生専用席ができました。

千代田区内在住・在学の中中学生と高校生のための席を増設しました。読書や学習にぜひご利用ください。

- 中高生専用席 10席
 - 中高生専用学習ルーム 8席
- 場所: 9階 メインカウンター右奥の窓側
※ 利用申請は不要ですが、学生証などをご提示いただくことがあります。



コンシェルジュサービスをご利用ください。

図書館コンシェルジュは、館内の案内だけでなく、千代田区の街案内も行っており、さまざまな情報を提供しています。読書の秋、芸術の秋。ミュージアムや史跡、書店巡りなどの情報収集の場としてご利用ください。
場所: 9階 コンシェルジュブース



Illustration_Satoshi Ogawa

Information

展示ウォール

発電所を宇宙につくる ～エネルギー問題に挑む宇宙科学の最前線～ 開催中～2018年1月27日(土)

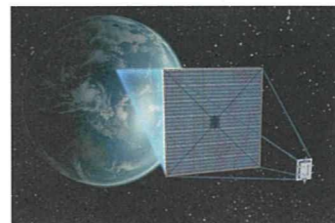
地球環境にやさしいエネルギーシステムとして期待されている太陽光発電。宇宙から地上へエネルギーを送る太陽発電衛星の研究開発が各国で進められているなか、日本はその最先端で世界をリードし、今世紀半ばの実用化を目指しています。太陽発電衛星についてパネルで紹介するとともに、宇宙・科学・エネルギーに関する本や雑誌を展示・貸し出しします。

イベント

トークイベント「太陽発電衛星への挑戦 —研究開発の現場から—」

12月11日(月) 19:00～20:30
区役所4階=401会議室 ※申込制

太陽発電衛星の研究に携わるJAXAの研究者が、その研究の歴史、電波を使って宇宙から地上へエネルギーを送る技術、開発の最前線について話します。



太陽発電衛星の構想図 ©JAXA

展示「ゆうきよしなりイラスト展 ～絵と詩で楽しむ科学～」

開催中～2018年1月27日(土)
9階=ミニ展示コーナー

企画展示「発電所を宇宙につくる」にあわせ、JAXA絵本などを手がけるゆうきさんが、科学をテーマとした17点のイラストと詩を展示します。

講演会「和泉式部の和歌 — “歌ことば”が放つ命のきらめき」

11月29日(水) 18:30～20:00
9階=特設会場 ※申込制

柏木由夫氏(大妻女子大学文学部教授)が、古典和歌の世界で最高の女性歌人といわれる和泉式部について、その人生や作品を解説します。

情報探索講習会「新しい検索機を使ってみよう!」(仮)

2018年3月24日(土) 14:00～14:20
10階=児童書コーナー 検索機
2018年3月26日(月) 18:30～18:50
9階=コンシェルジュブース前 検索機
※ 申込不要

2018年3月に新しくなる蔵書検索機の使い方を紹介します。

冬のおはなしトレイン・BOOK TRAIN展示

12月26日(火)～
2018年1月8日(月・祝)

9階=第2展示ウォール
10階=児童書コーナー
乳幼児から中学生におすすめの本を年齢(学齢)ごとに展示します。

赤ちゃん向けおはなし会

毎月第2木曜日 11:00～11:30
10階=子ども室
※ 申込不要

みんなで楽しめる絵本の読み聞かせやわらべうたなどを行います。お子さんと保護者だけでなく、妊婦さんもお越しください。

ほかにもイベントを多数開催! 詳しくはホームページで。

出版検閲の痕跡を見る

当館では、内務省委託本(戦前に内務省が行っていた出版検閲に使われた本)を2300冊所蔵しています。そのうち約1割には検閲官による書き込みが残っており、それら内務省委託本の調査や展示を2007年から行っています。



研究会風景

いことです。今年行った内務省委託本についての4回目の展示「検閲官・戦前の出版検閲を担った人々の仕事と横顔」では、3人の検閲官の業務内容だけでなく、私生活にまで迫った人物像をお伝えするに至りました。これまで決裁印でしか確認できなかった検閲官について、研究会のメンバーが調査を進め、検閲官の遺族が保管する資料の現地調査や、検閲官が私生活を綴った日記を発見して研究を行ったなどの成果が実を結んだからです。10年前までは、不透明だった出版検閲の実態は、このようにして徐々に明らかになっていきます。研究会の成果は、展示以外にも、調査レポート(現在16号まで発行)などの形で発表していますので、ホームページなどでご覧ください。

ご利用案内

- URL <http://www.library.chiyoda.tokyo.jp>
- Facebook <https://www.facebook.com/lib.chiyoda>

千代田図書館
千代田区九段南1-2-1千代田区役所9・10F ☎03-5211-4289・4290
開館時間 月～金 ▶10:00～22:00 土 ▶10:00～19:00
日・祝・12/29～12/31 ▶10:00～17:00
※夏期は9:00開館
休館日 第4日曜日、1/1～1/3、特別整理期間
アクセス 東京メトロ東西線・半蔵門線、都営新宿線「九段下」駅 4・6番出口より徒歩5分

日比谷図書文化館
千代田区日比谷公園1-4 ☎03-3502-3340
開館時間 月～金 ▶10:00～22:00 土 ▶10:00～19:00
日・祝 ▶10:00～17:00
休館日 第3日曜日、12/29～1/3、特別整理期間

四番町図書館
千代田区四番町1 ☎03-3239-6357
開館時間 月～金 ▶9:00～20:00 土 ▶9:00～19:00
日・祝・12/29・30 ▶9:00～17:00
休館日 第1日曜日、12/31～1/3、特別整理期間

昌平まちかど図書館
千代田区外神田3-4-7 ☎03-3251-5641
開館時間 9:00～20:00 ※12/29・30は9:00～17:00
休館日 第2日曜日、12/31～1/3、特別整理期間

神田まちかど図書館
千代田区神田司町2-16 ☎03-3256-6061
開館時間 9:00～20:00 ※12/29・30は9:00～17:00
休館日 第3日曜日、12/31～1/3、特別整理期間

ちよだパークサイドプラザ区民図書室
千代田区神田和泉町1 ☎03-3864-8931
開館時間 月～土 ▶9:00～19:00 日・祝 ▶9:00～17:00
休館日 第3日曜日、年末年始、特別整理期間

千代田区男女共同参画センターMIW
千代田区九段南1-2-1千代田区役所10F ☎03-5211-8845
開館時間 月～金 ▶9:00～21:00 土 ▶9:00～17:00
休館日 日曜日、祝日、年末年始、特別整理期間

千代田Web図書館
URL <https://weblibrary-chiyoda.com> ※電子書籍の貸出サービス

コンシェルジュが
ゆくゆく

図書館
コンシェルジュが
楽しい街情報を
おすすめ!



文学のまち、千代田を歩く

かつて多くの文学者や芸術家が暮らし、文化の発信地となっていた番町廻町界隈を、「まちの記憶保存プレート」を目印に歩いてみてください。

明治から昭和にかけて、番町廻町付近には、島崎藤村、泉鏡花をはじめとする文学者や芸術家たちが暮らしていました。現在、「番町文人通り」という、四ツ谷駅から大妻通りに突き当たるまでの1キロほどの通り付近には、文学者などの旧居跡などを示す「まちの記憶保存プレート」が設置されています。

まちの記憶保存プレートとは…

千代田の地に刻まれた歴史上のできごとや地域にまつわる人物などの足跡をプレートに置きかえ、後世へと伝えていく区の取り組みです。プレートは、複数色のひし形で、現在18か所に設置されています。
※2017年10月末以降に1か所追加予定
詳しくは千代田区ホームページで！
<https://www.city.chiyoda.lg.jp/koho/bunka/bunka/chome/kioku/index.html>



1 島崎藤村旧居跡
設置場所 六番町13番地10

島崎藤村(1872~1943)は、昭和12年、ここに新居を建て、大磯の別邸で亡くなるまでの6年間を過ごしました。また、パリ留学時代から親しかった画家・藤田嗣治の家が裏手に隣接しており、そこでも交流があったといわれています。

2 泉鏡花旧居跡
設置場所 六番町5番地

泉鏡花(1873~1939)が、『婦系図』のモデルでもあった愛妻・すずとともに、明治43年から死去するまでの29年間をここで暮らしました。隣家に住んでいた里見淳を可愛がっており、里見も鏡花を終生の師と仰いでいたそうです。

3 有島武郎・有島生馬・里見淳旧居跡
設置場所 六番町3番地 ベルテ六番町

作家・有島武郎(1878~1923)、画家・有島生馬(1882~1974)、作家・里見淳(1888~1983)ら兄弟が、元旗本屋敷の広大な敷地で育ちました。兄弟らがそれぞれ名を上げるころには、白樺派の作家や画家をはじめ、多くの文化人が出入りする屋敷でした。

4 菊池寛旧居跡
設置場所 六番町3番地 ベルテ六番町

有島武郎の死後に貸しに出された有島邸の一角に大正15年から暮らしていたのが、芥川賞や直木賞の設立者でもある菊池寛(1888~1948)です。ここを自宅兼文藝春秋社としていたころは、川端康成をはじめ、多くの文化人が出入りしていました。

8 串田孫一旧居跡
設置場所 一番町20番地1
ホームATTカメラア

人生、山、植物などのテーマでエッセイなどを残し、昭和33年に詩人・尾崎喜八らとともに山の文芸誌『アルプ』を創刊した哲学者・串田孫一(1915~2005)は、昭和13年に永田町からここに転居し、数年間暮らしていました。

9 大橋図書館跡
設置場所 三番町22番地 東京家政学院

博文館創立者の大橋佐平の提言により、明治35年に設立した大橋図書館は、近代日本の私設図書館のさきがけでした。大橋邸内に建てられた当時の建物は木造2階建てで、書庫は煉瓦造りの3階建てでした。ここには菊池寛、網野菊、石川啄木など多くの文学者が通ったといわれています。

5 明治女学校跡
設置場所 六番町3番地1
グランフォルム六番町

自由学園創始者・羽仁もと子や作家・野上弥生子ら、先進的な女性を輩出した明治女学校が、明治25年から約4年間ここにありました。当時20代前半の島崎藤村も教壇に立って英語や英文学を教えていたほか、文学の一つの流れをつくった『文学界』もこの学校をもとに発行されました。

10 『明星』発祥の地
設置場所 三番町22番地 東京家政学院

与謝野鉄幹を中心に創設された明治期を代表する同人結社・東京新詩社がありました。その機関誌『明星』は、この地で刊行され、高村光太郎、北原白秋、石川啄木、鳳(与謝野)晶子らが寄稿し、当時の歌壇、詩壇に大きな影響を与えました。

6 与謝野鉄幹・晶子旧居跡
設置場所 四番町9番地2 セントラルレジデンス四番町シティハウス

歌集『みだれ髪』でデビューした歌人・与謝野晶子(1878~1942)と、夫で雑誌『明星』を主宰した与謝野鉄幹(1873~1935)が、明治44年から4年間ここに住んでいました。その前後に何度か引っ越しをしていますが、千代田区内には足掛け19年ほど暮らしていました。

7 網野菊旧居跡
設置場所 四番町1番地 四番町図書館

網野菊(1900~1978)は、番町小学校、千代田高等女学校(現:千代田女学園)に通い、作家としての作品にも廻町界隈の庶民生活を描いています。一度この地を離れますが、昭和17年に再びこの界隈へ戻り、ここには空襲で家が焼けるまで住んでいました。

プレートに示されている場所以外にも、文化人の旧居跡や史跡などがあります。つぎの本も参考にしてみてください。
『千代田まち事典』(千代田区区民生活部) 所蔵資料番号: 130482995
『番町廻町「幻の文人町」を歩く』(新井巖・著/彩流社) 所蔵資料番号: 105860480

千代田区ゆかりの文学者コーナー
場所: 9階=コンシェルジュ・ブース脇24番棚

千代田区が出生地であったり、暮らしたことがあったりする文学者(明治期以降の物故者)の著書や関連本を集めたコーナーを設けています。(現在69人を登録)

◆図書館バックヤード◆

図書館の本選びはどのように行われているのかご存じでしょうか? 千代田区立図書館の場合は、区立図書館5館の担当司書が毎週1回集まり、図書資料の「選定会議」を行い、千代田区の図書館として所蔵対象となる図書資料を選んでいきます。



選定の基準となるのは、「千代田区立図書館資料収集方針」と、より詳しくした「資料選定基準」で、この文書をホームページで公開しています。選定基準には、所蔵対象となる図書資料の分野や内容、形状などのほか、5館それぞれの立地や施設設備などによって異なる利用者層とそのニーズに合わせるため、どの館にどのような資料を置くべきかなども具体的に定めています。
たとえば、四番町図書館は、子どもが多い住宅街に位置するため、児童サービスの中心館としています。そのため、他の館よりも児童書を多めに揃えているほか、その立地から番町廻町の地域資料に当たるものを所蔵しています。



選定会議の大まかな流れは、まず選定会議の日までに、選書用のカタログや実際の本などを見ながら、各館の担当者が事前に自館で所蔵したい(購入したい)資料のリストを作成します。選定会議当日は、そのリストを基に、全館の担当司書が揃って、各館の特色などを考えながら、所蔵する資料のバランスを調整・検討して購入する本を決めていきます。図書資料の面からも5館の特色に注目してみてください。